

女性活躍の機運醸成事業【鳥取県】

総事業費	2,581千円
交付金額	1,291千円

地域の実情と課題

女性活躍推進にあたり、職場における男性を中心とした労働慣行が依然として残っており、男性の家事・育児・介護に参画する時間が短く、家庭での負担が女性に偏っている。
 ⇒ **経営者の意識改革、男性の家事・育児・介護への参画の促進による女性活躍の機運醸成が必要**

事業の特徴

経営者の意識醸成、男女共同参画社会の推進をするため、以下の事業を実施。
 ①経営者向けアンコンシャス・バイアス対応等研修の実施、企業の女性活躍推進モデルの発信
 ②固定的役割分担意識解消等に関する普及啓発、女性活躍推進に向けたシンポジウム等の開催

事業の効果

- ・男女ともに能力を発揮活躍できる働きやすい職場づくりに取り組む企業が増え、企業の女性活躍の機運が高まった。
【イクボス・ファミボス宣言企業】累計787社
- ・事業が報道機関に取り上げられ、広く一般に対する周知・啓発へと繋がった。

目的・目標

男女共同参画推進企業の新規認定
 2022年度目標：**累計1000社**

連携団体

「鳥取県男女共同参画推進企業認定委員会」
 ○メンバー
 鳥取大学、鳥取労働局、商工団体、労働組合の職員

今後の課題

仕事と家庭の両立支援として充実した制度を整備する企業は着実に増えているが、制度を利用しやすい職場づくりが必要。引き続き、イクボス・ファミボス宣言の実施等で経営者の意識改革を推進していく。

【課題】女性活躍推進にあたり、職場における男性を中心とした労働慣行が依然として残っており、男性の家事・育児・介護に参画する時間が短く、家庭での負担が女性に偏っている。

⇒経営者の意識改革、男性の家事・育児・介護への参画の促進による女性活躍の機運醸成が必要

(1) 経営者の意識改革

・固定的な性別役割分担意識に基づく男性を中心とした労働慣行を変革し、ワーク・ライフ・バランスを推進するため、経営者等に対して、アンコンシャス・バイアス対応研修、社会の変化に伴う新たな課題に対応するための研修を実施。

・誰もが安心して働き続けられる職場環境づくりに向け経営者の意識醸成を行うため、女性活躍推進に取り組む企業を継続的にサポートし、その好事例を他企業へ発信。

(2) 男女共同参画社会の推進

- ・誰もが自分らしく活躍できる社会づくりを推進するため、男女共同参画推進における障壁となっている固定的な性別役割分担意識の解消や、女性のこころとからだの特性を理解するための普及啓発。
- ・家族や職場など身近な相手とよりよい関係性を築くためのコミュニケーションに特化したセミナーや女性活躍推進の機運醸成を目的としたシンポジウムを開催し、女性の活躍を応援。